

自己発揮する幼小接続 ―カリキュラム・マネジメント―

「幼児教育と小学校教育の 専門性の交わるところ」

子どもが主体性を発揮し、生き生きと遊び学ぶためには、保育者・教員の幼児・児童理解と、それに基づいた柔軟なカリキュラム・マネジメントが欠かせません。「子どもの育ちや思いをどう見取り、教育計画、実践につなげるのか」「幼児期の学びを小学校側はどのように受けとり、教育課程へつなぐのか」が問われています。

接続講座③では、はじめに福井県幼児教育研究会の2園が架け橋期の幼小連携・接続に関する実践発表を行います。次に、京都教育大学 教授 古賀 松香 先生にご講演いただきます。その後、参加者同士のグループトークを行い、幼児教育と小学校教育の専門性の交わるところについて考え、立場を越えて学びを深め、視野を広げられる貴重な研修会です。

日 時 令和7年8月8日（金） 13:30～16:30 13:00受付開始

会 場 生活学習館多目的ホール（福井県福井市下六条町14-1）

対 象 小学校・保育所・幼稚園・認定こども園・教育委員会・市町保育担当課等の先生方

日 程 13:00～13:30 受 付

13:30～13:35 開会、本日の講座について

13:35～14:15 県幼児教育研究会 研究発表

発表園：聖徳幼稚園（福井市）、北中山幼稚園（鯖江市）

14:15～14:25 質疑応答

14:25～14:35 休 憩

14:35～15:35 講 演 「越境する対話が創る実践共同体を目指して」

講 師：京都教育大学 教授 古賀 松香 氏

15:35～16:25 グループ協議「幼児教育と小学校教育の専門性の交わるところ」

16:25～16:30 閉会、アンケート

古賀 松香 先生のプロフィール

【現 職】 京都教育大学幼児教育科 教授

【専門分野】 幼児教育学 保育学

【著 書】 『愛と知の循環』としての保育実践（北大路書房 2025）

「保育内容『人間関係』（主体としての子どもが育つ）」（北大路書房 2024）

「保育者の身体的・状況的専門性：保育実践のダイナミック・プロセスの中で
発現する専門性とは」（萌文書林 2023） など多数